

一生忘れることのない ひと夏の思い出

第2回

寺子屋つばさ

100km徒歩の旅

学生スタッフ募集!!

学生スタッフの方々には、小学生が4泊5日で100kmを歩くための、あらゆる面でのサポートをお願いしています。

寺子屋つばさ100km徒歩の旅は
青少年育成事業です

事業概要

事業名 寺子屋つばさ100km徒歩の旅
主催者 社団法人 燕三条青年会議所
後援 三条市、三条市教育委員会、燕市、燕市教育委員会
弥彦村、弥彦村教育委員会、全国100km徒歩の旅推進協議会
(平成20年度実績、平成21年度予定)
実施日 平成21年8月19日(水)~23日(日) 4泊5日
コース(予定) 下田地区 → 三条地区 → 栄地区 → 燕地区 → 分水地区 → 弥彦村
内容 100km徒歩の旅に参加する小学生のサポート・生活支援全般
対象者 専門学校生・短大生・大学生・他【約40名】
会費 5,000円(食費、施設利用費及び保険料等含む)

お申込方法

インターネットに接続可能な携帯電話もしくはパソコンにて、下記ホームページよりお申し込み下さい。面接及び説明会、スタッフ研修会等が事前に行われますので、こちらからご案内致します。

お申込締切 平成21年5月31日(日)

★お申し込みは随時お受け致します。 ★定員になり次第締め切らせていただきます。

説明会
随時開催

詳しくは下記
WEBサイトまで!!

子供たちの「生きる力」を育てよう!
研修を受講して自分自身も成長!

QRコードで簡単!
携帯からアクセス



TSUBAMESANJO JC
<http://www.tsubamesanjo-jc.or.jp>
jimukyoku@tsubamesanjo-JC.or.jp



社団法人 燕三条青年会議所
〒955-0092 三条市須頃1-20 三条商工会議所内
TEL 0256-32-5151 FAX 0256-32-5343

燕三条JC

検索



一生の宝物探しの旅へ出かけよう!!

寺子屋つばさ100km徒歩の旅へ学生の皆さん力をかしてください!

この事業は、燕三条地区・弥彦地区の名所を巡りながら、100kmの道のりを4泊5日かけて歩くというものです。100kmを歩きぬくという未踏の課題を通じて、子どもたちに「やればなんでもできる!」という自信、達成感を持ってもらい、将来どんな難関や困難にも立ち向かえる人になってほしいという目的を持った事業です。また一緒に歩く仲間や学生スタッフを通じて、子どもたちのコミュニケーション能力の向上も図ります。

5日間という期間は決して長くはありませんが、いろんな課題に参加者みんなで取り組むことで、その5日間は長い人生においてかけがえのない思い出となり、そこでの経験は子どもたちだけでなく全ての参加者にとって、将来さまざまな場面で役に立つ貴重な財産となるでしょう。ぜひ多くの学生さんたちに経験してほしいと考えています。皆さんのご参加をお待ちしています。

地元新聞に記事が掲載されました。



▲三條新聞 2008年8月8日
▲新潟日報 2008年8月12日



こんな学生さん集まれ!!

- 夢や希望が持てずに悩んでいる人
- 何事にもやる気が出ずに悩んでいる人
- 夢や希望に満ちあふれ、どうしようもない人
- 私が日本を元気にしちゃおう!!と感じている人

学生体験コメント

第一回寺子屋つばさ「100km徒歩の旅」に参加した学生スタッフのコメントです。

■ 専門学校1年生 女性

最初はとりえず研修会に参加してみましたが、想像していたものと違い、やめようと思いました。しかし参加していく中で大人の方が熱心で本気に取り組んでいる姿を見て私もがんばる決意をしました。100kmが終わってもまだまだ記憶は薄れません。写真を見れば涙が流れるくらい感動が蘇ってきます。100kmを子ども達と歩き、ゴールできて本当に幸せです。こんなに何かに熱くなれる機会をくれた方々、100kmに参加した皆に感謝の気持ちでいっぱいです。

■ 大学2年生 男性

今回の100kmでは本当に色々な経験をしました。特にそれは子ども達から教えられる事ばかりでした。物事に真剣に取り組む姿勢、努力する力、あきらめない気持ち、団結力、日を増すごとにそれを肌と感じました。このような経験ができたからこそ自分も成長できたのだと感じています。自分がこの寺子屋つばさ100km徒歩の旅に参加できた事を誇りに思います。

■ 専門学校1年生 女性

私が100kmに参加した理由は子どもが好きという事と、自分も何か成長のきっかけを作りたいからです。本番当日、不安でいっぱいでしたが子ども達の笑顔でそんな不安は消えていき、自分もどんなに辛くても笑顔で4班を元気づけるんだと誓いました。私が思っていたより子ども達は強くて自分も共に笑い、泣き、色々な事を感じ、様々な経験を通して成長させてもらいました。そして目標である全員完歩を達成でき嬉しすぎて悔しいくらい涙が出てしまいました。この素晴らしい経験は一生の宝物です。

■ 専門学校1年生 女性

100kmでゴールした後、子ども達の保護者の方とお話する事がありその子のがんばっていた様子を伝えると、嬉しそうに「ありがと」と言ってくれました。人に感謝される事がこんなに嬉しい事なんだと実感しました。将来、私は人に頼りにされ感謝される公務員になれるようにがんばりたいと思います。

